

食べられるのに廃棄されてしまう食品（食品ロス）の量は、日本人１人あたり 年間約37kg と試算されています！

！佐賀県で、年間約28,915トン の食品ロスが発生する計算です！

※ 佐賀県の推計人口(781,496人、令和7年9月1日現在)から試算しています。

食品ロスは、皆さんの少しの心がけから、削減することが出来ます！

！「事業者」「個人」のどちらでも、少しの活動から参加できます！

事業者の皆さま

食品ロスを減らす

社会貢献活動

と一緒に取り組みませんか

佐賀県は、食品ロス削減に積極的に取り組んでいます！

1 取り組み：食品ロスを削減するために

食べられるのに廃棄されてしまう食品を、必要としている方々へ届ける活動が全国的に広がっています。佐賀県も参加している一般社団法人佐賀県食でつながるネットワーク協議会では、食品関連事業者様やその他の事業者様から提供いただいた食品を、県内のこども食堂など必要としている団体へ提供する活動を行っています。

※ (一社)佐賀県食でつながるネットワーク協議会のホームページは、右の二次元コードからご確認ください！



2 お願いしたいこと：継続的な活動のために

食べられる食品を廃棄せず(①)に必要なところへ配送する(②)ことが、この活動を長期的に継続していく上で重要です！どちらかが欠けてしまうと、活動が成り立たなくなってしまう。この活動に賛同していただき、①と②の両方またはどちらか一方でもご協力いただけるときは、まず下部の連絡先にお知らせください。

実際に活動される前に、(一社)佐賀県食でつながるネットワーク協議会を含めてお打ち合せさせていただきます。

① 食べられる食品を廃棄しないこと

☆ 食品の寄附をお願いします！

例えば・・・

- ・ 社内でフードドライブ(家で使わない食品(レトルト食品など)を寄附する活動)を行い、集まった食品を協議会に寄附する！
- ・ 【主に食品製造業】食品衛生的に問題ないが、市場に流通できない製品を寄附する！

【お願い】

寄附できる食品にもルールがあります(未開封であること、保存方法など)ので、寄附を行う前に、予め協議会とのお打ち合せをお願いします。

② 食品を必要なところへ配送すること

☆ 食品の運搬のご協力をお願いします！

例えば・・・

- ・ 自社商品の輸送において、トラック荷台に空きが出る区間で寄附食品の運搬を行う！
- ・ 自社トラックの拠点移動に合わせて、寄附食品を運搬する！

【お願い】

寄附食品が集まるタイミングがありますので、ご協力の前に、予め運搬スケジュール等を協議会とのお打ち合せをお願いします。

3 社会貢献活動のメリット：会社のPRのために

食品ロス削減に関わるこの活動にご協力いただくことで、

- 地域貢献と社会的信用の向上
 - SDGsへの貢献活動として社会的信用の向上
 - 県のホームページや当課が管理するSNS媒体、広報誌等を活用したPRの実施
・・・ この活動にご協力いただいたことを県の広報媒体等で広く周知します。
 - 廃棄物処理に係るコスト削減(主に食品製造業)
・・・ 品質や衛生的には安全であるものの、市場に出荷できない製品の処分に係るコストを削減できます。
- ・・・ 会社の社会的責任(CSR)活動として評価され、信頼性向上に寄与します。

に寄与することを想定しています。